

日 本 画

安 栄 容子		
はるかぜ		鳥の子・岩絵の具
上 田 入子		
季節ごとに	F50	雲肌麻紙・箔・岩絵の具
春三題	F50	〃
春秋	F50	〃
昼下がり	M50	〃
どこへ	F50	〃
歓	M50	〃
内 崎 さき子		
緑光	130 号	土佐紙・墨・岩絵の具
岡 恵子		
12 月の少女	100 号	雲肌麻紙・箔・岩絵の具
午後の休息	M50	アートクロス・岩絵の具
終宴	F20	絵絹・水干絵の具
野葡萄の頃	M30	白麻紙・岩絵の具
工 藤 葉子		
風の音色	30 号	雲肌麻紙・箔・岩絵の具
硝子の街	50 号	雲肌麻紙・岩絵の具
夢の後	40 号	雲肌麻紙・箔・岩絵の具
駒 澤 千波		
支流三部作「始流」	90*180cm	木製パネル・紙粉・箔・岩絵の具
支流三部作「支流」	90*180cm	〃
支流三部作「想流」	90*180cm	〃
凍星	円形 175mm	木製パネル・紙粉・岩絵の具
小 梁 川 貴子		
流水	㍻ 150 号	雲肌麻紙・箔・岩絵の具
刻	㍻ 150 号	〃
さとう 綾子		
？好！台湾	S30	和紙・岩絵の具
FREE	S30	〃
FLOWER	S30	〃
千 葉 晃世		
かごめ島	WF80	雲肌麻紙・箔・岩絵の具

小樽少年少女合唱団

2月9日（金）、11日（日）18：30～19：00

指揮者：大道恒雄 鈴木久司 浅原富希子
ピアノ・クラリネット：川内洋子 ピアノ：温井亜衣

【曲目】
「小樽慕情 雪」 作詞/作曲 小林千春
「冬のメドレー」（おおさむこさむ〜たきび〜雪）
「さくらさくら」 日本古謡 編曲 越部信義
「富山に伝わる三つの民謡より」 むぎや
作詞・構成・作曲 岩河三郎
「いのちの歌」 作詞 Miyabi 作曲 村松崇継
「ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』メドレー」
作詞 オスカー・ハマー・スタイン2世
作曲 リチャード・ロジャース

【出演】
照山柚葉、伊藤潮里、高瀬優輝、永富大晴、山崎帆花、小林夏綺、
小松莉佳子、小松裕代、下間有己、下間翔己、鈴木萌維、鈴木凜太郎、
蛭田敦文、高野円花、辻村晴海、永富ことみ、山崎温翔、菊池陽芽、
工藤千朋、吉岡祐香、丸山拓実、筑前亜耶、濱谷れもん、永原佳歩、
榎本琴美、金澤美月、平田莉菜、増子あすみ、山本和奏

当団は1978（昭和53）年に設立され、年に一度の定期演奏会や、道内の少年少女合唱団との交流のほか、これまでに、姉妹都市である、ダニーデン市やナホトカ市との親善交流会や、小樽市民合唱祭、施設訪問演奏会などに積極的に参加しています。

現在団員募集中です（見学自由）
（練習日）毎週土曜日 13：00～15：00
（会場）小樽市立稲穂小学校音楽室
（連絡先）090-8709-0647（浅原）
25-2885（大道）

桂岡少年少女合唱団

2月10日（土）18：30～19：00

指揮者：木村 弥穂
ピアノ：白根 正美

【曲目】
「小樽慕情 雪」 作詞/作曲 小林千春
「さくら さくら」 日本古謡 編曲 越部信義
「ふるさとの空は」 ハンガリー民謡
作詞 峰 陽 編曲 矢代秋雄
「大切なもの」 作詞/作曲 山崎朋子
「青い地球は誰のもの」
作詞 坂田寛夫 作曲/編曲 富田勲
「ふるさとの四季」 より
（ふるさと 春の小川 紅葉 冬景色 雪 ふるさと）
編曲 源田俊一郎

【出演】（五十音順）
荒内舞結子、井上友里菜、角田幸音、木村和弥、久保美晴、
榊原庵、榊原世莉、榊原朱里、高木さくら、中川里歩、
信成悠花、畠山華那

1978年に活動が始まった桂岡少年少女合唱団は、故中島祺枝（やすえ）先生の目標であった創立40周年を迎えます。「どんな時も明るく笑顔で」をモットーに楽しく活動しています。
問い合わせ先（011-684-4488 榊原）





～参加アーティストからのメッセージ～

「今年は日本画の展示を」と上野亜希子委員長からご依頼があり、大変嬉しく思っております。

日本画は元々、板や和紙、絵絹などに水干絵の具や岩絵の具を「膠（にかわ）」によって定着させます。発色の美しさと絵肌の優しさを堪能してほしいと思います。

箔を効果的に使っている作品も多いので、会場にいる日本画作家にお気軽に聞いてみて下さい。

上田入子（小樽日本画協会）

繊細な日本画と透明度の高い子どもたちの歌声とのコラボレーション、果たしてどんな空間が醸し出されるかと興味津々です。演奏曲は、懐かしの曲や民謡、ミュージカル曲などバラエティー豊かに、子ども達が心をこめて奏でてくれます。ぜひお楽しみください。

大道恒雄（小樽少年少女合唱団）

壁一面にかけられた日本画をバックに、下は7歳から上は19歳まで12名の団員が心を一つに美しいハーモニーを響かせます。

この歌声が日本画や雪明かりの情景と共にみなさまの心に届くと嬉しいです。

榊原央子（桂岡少年少女合唱団）

この度は、「第3回 文団協・雪あかりジョイント事業 A Crystal Night in Art Museum～こころを奏でる～」へご来場ご高覧誠にありがとうございます。

今年のクリスタルナイトは「こころを奏でる」という共通テーマのもと、小樽にゆかりがあり、第一線で活躍中の9名の日本画家の皆様による日本画の作品と、今年どちらも創立40周年を迎え、伝統ある小樽少年少女合唱団・桂岡少年少女合唱団のコラボレーションを企画いたしました。

今後、この空間が、小樽市が推奨するアーティスト・バンクや若手アーティストの育成の場、アートの出逢いの場なることを期待しています。

本日はお時間の許すかぎり、ゆっくりご鑑賞ください。

小樽市文化団体協議会 会長 川村 治男
雪あかりジョイント事業委員長 上野亜希子
（直江博子創作バレエ研究所）



第3回文団協・雪あかりの路ジョイント事業

A Crystal Night in Art Museum



～こころを奏でる～



2018年2月7日(水)～11日(日)

Otaru City Museum of Art

市立小樽美術館

1階 多目的ギャラリー

小樽市色内1-9-5



主催：小樽市文化団体協議会

共催：小樽市教育委員会、小樽雪あかりの路実行委員会

後援：小樽市

問い合わせ：小樽市文化団体協議会事務局

（小樽市教育委員会 教育部 生涯学習課内）

電話 0134-32-4111【内線532】

